

文化・芸術

「Land in the air」

2018年、パネルに寒冷紗、パテ、コ
ラージュ、カゼインテンペラ、アクリル、
色鉛筆 27.3センチ×18.2センチ（作家蔵）

小林達也（1973年〜）

色彩だけでなく質感が多彩なもの、本作の魅力です。絵の具の盛り上がりや、ざらついた色鉛筆の線。コラージュされた布の凹凸や絵の具に染まったにじんだ色合い。絵の具が垂れて真つすぐにひかれた線と先端のしずく。さまざま素材が作家の手によって真つ白なパネルの上とその姿をあらわし、相互に関係しあい、一つの作品として確かな存在となっています。それは無秩序なようでもまとまりがあり、無限に広がっていくようでもあります。この不思議な存在を目の前にしたとき、私たちは宝探しのように、作品の中にある無数の存在を認識していきます。

小林達也は、神奈川県に生まれ、2016年、桐生ファッションタウン推進協議会によるフィールドワークプロジェクトに携わり、桐生に移住。旧織物工場をアトリエとして、創作活動を行っています。

（池田）

※企画展「桐生のアーティスト2020」は3月22日まで。出品作家は、石原彰一、金原寿浩、小林達也、小松原洋生、丸尾康弘、圓山和幸、森村均、山口晃。月曜休館。

〈名画の扉〉

大川美術館企画展から

